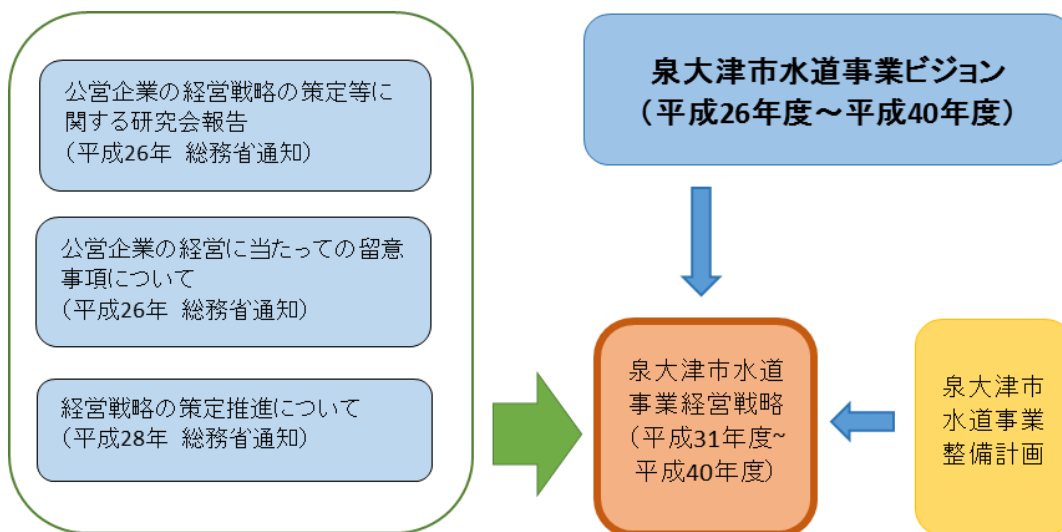


泉大津市水道事業経営戦略（素案）概要 （平成31年度～平成40年度）

第1章 経営戦略策定の趣旨と位置づけ（P4・5）

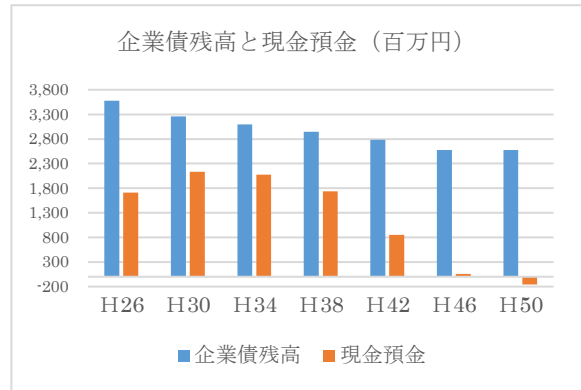
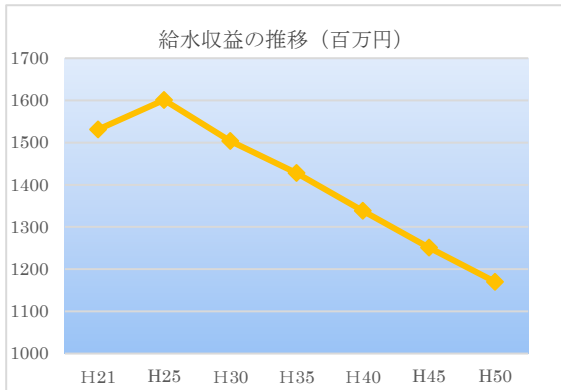
泉大津市水道事業では、平成26年に策定した「泉大津市水道事業ビジョン」による取り組みを進めていますが、高度経済成長期に整備した多くの水道施設で老朽化が進んでいるなか、人口減少や節水意識の高揚、節水機器の普及等による水道使用量の減少、震災対策の充実の必要性など、新たな課題が山積しています。このような状況に対応するため、投資費用の合理化を前提とした「泉大津市水道事業整備計画」を踏まえた「投資試算」と「財源試算」を均衡させた収支計画を策定し、中長期的な視野で事業経営に取り組んでいくことが重要です。

このため、泉大津市水道事業ビジョンのあるべき姿として掲げている「地域と共に、信頼を未来につなぐ泉大津市の水道」の実現を目的として、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定するものです。



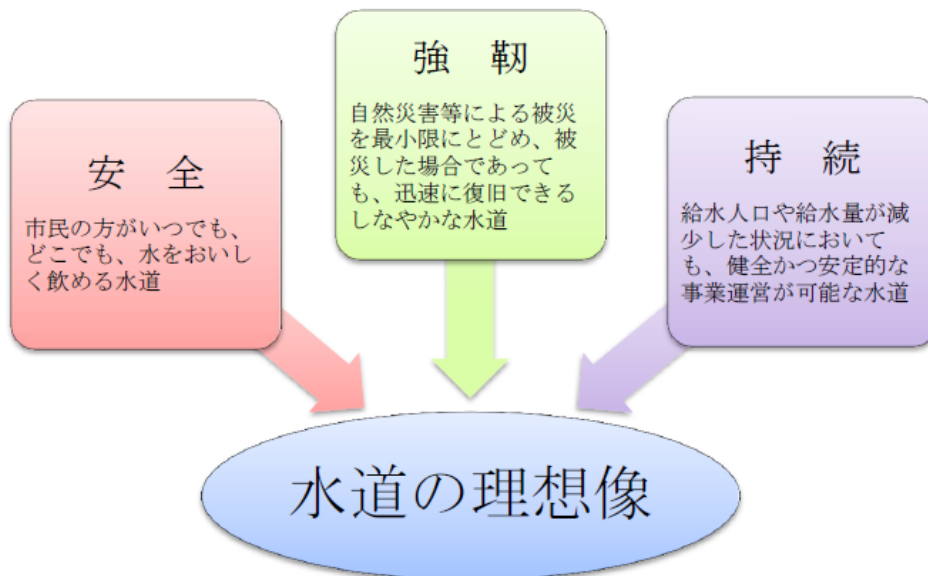
第2章 水道事業の現状と課題（P6～27）

現在の泉大津市水道事業は、比較的安定した経営状態です。平成29年度において総収益の84.8%を占める給水収益は、今後給水人口の減少に伴い同様に減少していく見込みです。一方で、高度経済成長期に整備した管路や水道施設が大量更新の時期を迎えることから、多大な経費が必要になることが予想されています。



第3章 経営理念と基本方針（P28～30）

人口減少や節水機器の普及等による給水収益の減少が続く中、多くの水道施設や管路は老朽化が進んでいます。しかし、どのような状況下においても水道事業は安全で良質な水道水を安定して供給する責任があります。



第4章 計画策定に向けた重要な取組み（P31～41）

将来にわたって安定的に事業を継続するため、以下の取り組みを行っていきます。

①投資計画

- ・平成40年までに耐震幹線ループを完成

- ・平成40年度以降に、配水池の建替えを実施予定

②財政計画

- ・施設更新時における企業債申請

③その他の取り組み

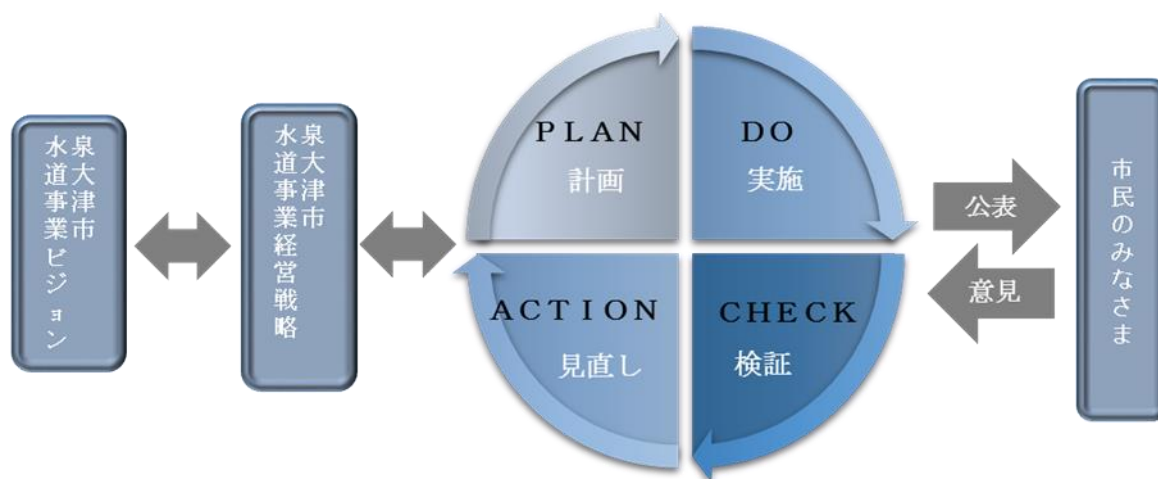
- ・人材の育成及び技術継承
- ・I o T、I C T化の研究

第5章 投資・財政計画（収支計画）（P 4 2～4 5）

今後10年間（平成31年度から平成40年度）の投資・財政計画を元に、様々な重要な取り組みを進めていきます。

第6章 経営戦略の事後検証・更新等（P 4 6・4 7）

経営戦略の推進のため、5年に一度投資・財政計画に対する実績の評価・分析を行い、次の経営戦略等に反映させるP D C Aサイクルを導入し、目標の達成状況や見直した経営戦略を公表しながら、更なる経営の健全化に取り組みます。



今後のスケジュール

- ・ H31.1.4～1.25 パブリックコメント実施
- ・ H31.2 総務都市常任委員会協議会報告